

令和6年度第3回寝屋川市ごみ減量化・リサイクル推進会議

日 時：令和7年2月13日（木）10：00～

場 所：寝屋川市クリーンセンター6階 多目的室

議 題：令和7年度寝屋川市一般廃棄物処理実施計画（案）について、令和6年度寝屋川市
ごみ質分析調査概要版について、その他

出席者：花嶋会長、荻野副会長、内田委員、北委員、竹川委員、掛川委員、野口委員、水井
委員、櫻井委員、岸本委員、森委員、石村委員

次第1．令和7年度寝屋川市一般廃棄物処理実施計画（案）について

（資料1に基づき、事務局より説明）

委 員：14 ページのガラス製容器を定期収集して独自ルートで資源化するということが
が、一升瓶に関しては、製品のままラベルを洗浄してリターンをする方が環境にや
さしいと思います。牛乳瓶やビール瓶は、リターンの流れにのっていると思います
が、一升瓶や酒瓶に関しては、なかなか難しいのかなと思います。

会 長：ありがとうございます。事務局からお願いします。

事務局：確かに販売方法の変化があると思います。以前は酒屋さんが配達して、その際に瓶
を返却することもできたと思いますが、現状店舗でお酒を買う方が多く、そういつ
たリサイクルができなくなっていると感じております。ささやかではありますが、
ホームページでもリユース瓶について紹介させていただいております。

会 長：とても大切なことです。リユース瓶の話をもっとみんなに伝えていこうというのは、
今もまだぎりぎりあるのでぜひ伝えていきたいと思います。

委 員：16 ページ第3部のし尿及び浄化槽汚泥処理量の総排出量令和6年度見込み1,515キ
ロリットル、令和6年の事業計画案では総排出量862キロリットルとなっています。
未達が続く、目標設定し直すという流れになっていると思うのですが、この目標値
はどのように設定されて、未達の場合どのように修正されているのですか。

会 長：事務局お願いいたします。

事務局：処理量の目標値につきましては、一般廃棄物処理基本計画に目標値の設定があり、
それに基づいております。令和6年度につきましては、し尿及び浄化槽汚泥処理量

862 キロリットルの設定をしております。実際に公共下水道に接続されている世帯は、カーブの減少具合が緩くなってきており、減少してきています。目標とは乖離しておりますが、徐々に減少していくのは間違いないというところです。

会 長：よろしいでしょうか。おかしいですね。かなり乖離しているのに、書くだけですかという疑問はよくわかります。他に何かございますか。

委 員：4 ページ事業系ごみの発生抑制、食品ロスの削減の 30・10 運動について具体的に教えて下さい。

会 長：お願いいたします。

事務局：従来宴会等において、初めの 30 分と最後の 10 分は食べることに集中して食品ロスを出さないようにしようと周知していたのですが、コロナ禍に宴会が減少したこともあり、現在、冷蔵庫に貼るマグネットや市のホームページによる啓発をさせていただいており、毎月 10 日、30 日については冷蔵庫の中身をチェックしましょうという周知をしております。

会 長：ありがとうございます。他にご質問、ご意見ございませんでしょうか。

委 員：ごみ処理の目標の考え方についてお伺いします。2 ページの排出量は削減傾向にあります。基本的には減少させることが目的なののでしょうか。廃棄量減少が目的で、色々な制約を作ると、不法投棄に繋がります。例えば、スプレー缶、タイヤ、テレビが駐車場に捨てられたりします。令和 7 年度のスプレー缶の目標は 71 トンですが、できる限り収集するのか、より回収しやすくするのか、減少させていくのか、計画の心構えを聞きたいです。

事務局：ごみの削減につきましては、基本計画を立ててその中で目標値を設定させていただいており、ごみの減少が大前提ではあります。委員がおっしゃるように規制を厳しくしすぎると、不法投棄の発生が懸念されますので、市民の方の利便性を考慮し、取り組みやすい形でゴミを削減していける方法を考えているところです。

委 員：その中で特に一番の問題点を知っておられたら教えてください。我々のところでもペットボトルと一緒にスプレー缶が捨てられており、爆発したことがありました。例えば、期間を設けて無料で回収できる場所があれば実際の家庭において助かると思います。スプレー缶に限らず、家庭で困っていることが何かを把握し、歩み寄っていく部分が見えると、わかりやすいと思いますがいかがでしょうか。

事務局：例えばスプレー缶でしたら、爆発事故等を受けまして、従前中身を抜ききってから
の排出をお願いしていたのですが、市民の方にとって危険なので、中身はそのまま
排出できるよう処理方法を変更しております。市内にかなりの数の拠点を設けてお
り、いつでも排出していただけますが、状況に応じて収集変更も検討していただ
きます。

会 長：是非そのような話をお聞かせいただきたいと思います。

委 員：店舗では服の引き取りをしています。毎週のように満タンになると、困っている
方が大勢いらっしゃるのかと感じます。意識が高まっている反面、今後分別が増え
ると、逃げ道として不法投棄が増加し、我々企業にとっても負担になり、危険な部
分も出てきます。例えばこの期間は無料で回収しますという運動をして、家庭の方
にとってわかりやすくなれば取組をより強化していけるといいますので、またそう
いう考えがあれば教えてください。

会 長：他にご意見ご質問等はございますか。よろしければ、次の案件に行こうと思います。

次第２．令和６年度寝屋川市ごみ質分析調査 概要版 について

（資料２に基づき、事務局より説明）

委 員：一般廃棄物処理基本計画 20 ページの再生利用率・資源化量の比較で寝屋川市の再
生利用率が 21.1%と大阪府下と比較して高くなっています。寝屋川市の直接資源化
率が 5.3%となっていますがこの直接資源化率はどのようなものでしょうか。資源
集団回収の再生利用率が 8 %と、なぜ寝屋川市の率が高いのでしょうか。市民の方
の意識が高いのか、寝屋川市特有の取組があるためなのか教えていただきたいです。

会 長：事務局お願いいたします。

事務局：資源集団回収につきましては、寝屋川市でお支払いしている報奨金の単価が周辺市
町村に比べ比較的高い数字になっているので、より資源集団回収に取り組んでい
ただいていると考えております。直接資源化率の数字につきましては、処理方法等が
すぐにわかりませんので、後程回答させていただきたいと思います。

会 長：ありがとうございます。他にご質問等ございますか。

委 員：各自治会が、ごみ排出方法や注意事項について説明しておりますが、ごみを分別せ
ずに排出する住民がたくさんいます。仮に市が大きな目標をたてても住民さんの意
識革命がないといけないと思います。分別ができていないごみやテレビ等が出され

ており、パッカー車が収集せず帰っていただくのも当然です。あとは自治会が注意し続けていますが、どうしても名乗り出てこないため、基本的には自治会で処理することになります。市の行政、特に環境の職員の方々、御足労をいただいて恐縮に思っております。今度自治協推進会議がありますが、議事の中で、このような問題を取り上げて注意喚起をしていきたいと反省をいたしております。

会 長：ありがとうございます。他にご意見、ご質問等ございますか。

委 員：私は単身赴任でマンションに住んでいます。一軒家であれば、外にそれぞれ分別したごみを置いておくことができますが、一人暮らしや単身赴任等で部屋が狭いと、基本的に分別する場所がないところが多いと思います。週に1回収集のペットボトルは、1週間ずっと家にためておくのか、その場所がないとなれば、ペットボトルを随時溜めておける場所を設ける、再生可能な紙は収集場所を決めておく等があれば、多少分別はできると思います。マンション・一軒家によって対応の仕方を変えろというのも一つの手ではないかと思ひます。

事務局：ごみの分別につきましては、もともと分別の種類が少なかったところから協力いただける範囲で増やし、現在は収集の曜日や収集日が詰まったような状態になっています。きめ細かな収集ができればいいのですが、なかなか難しいところがあります。市民の方の排出のしやすさと効率的な収集を考えていかねばならないと考えております。

会 長：貴重なご意見ありがとうございます。何らかの形で、ごみを出せるところがあつてそれがまたお商売に繋がったりするといいのかなと思ひます。

委 員：スーパーでトレイやペットボトルの回収場所があり、すごく助かっています。また、住んでいるマンションでは、紙をいつでも出せるスペースがあり、ためることがないので助かっています。あとはスーパー等にも紙を出すスペースを置いてもらえろと助かると思ひます。

委 員：店舗ではペットボトル、トレイ、缶ビン、服の回収をしています。古紙に関しては、広いスペースがある店舗には古紙回収ボックスを設置しています。基本的に設置すると改修や処理に、我々の手間がかかってくるので、販売に絡むところ以外はどうしても手間をかけることができないという問題があります。スーパー以外での回収を地域として考えていただきたいということと、歩み寄って連携をしていくこと

ができればいいと思います。

会 長：ありがとうございます。今のお二方について事務局からコメントありますか。

事務局：古紙につきましては、日々排出していただくことはできませんが、市の収集の他に資源集団回収もされていますので利用していただけたらと思います。

会 長：ありがとうございます。先ほどのお話にあったように様々な暮らしをしている方がいらっしゃるの、色々な収集方法ができれば、より暮らしやすくなるかもしれませんね。

委 員：以前、箱入りのフィルムのないペットボトルを買ってきたことがありました。ペットボトルはフィルムを外して排出すると前々からお聞きしています。フィルムをやめてキャップに表示するなど、無駄なことはやめてはどうですかと消費者側からメーカーさんへの提言をしようと思いますがいかがでしょうか。

委 員：環境を考えてフィルムの無い商品が徐々に増加しておりますが、メーカーさんにとって、お客様に何かあったときの対応で注意書きを入れておく必要性があり、年々文字が増加してきています。ケース売りはケースに記載できますが、個々の商品は厳しいところがあるのかなと思います。こういったところも併せて、より効果的な方法を考えていく必要があるかもしれません。

会 長：ありがとうございます。他にご意見ご質問等ございますか。

委 員：ペットボトルのフィルムやキャップを外すのは、私個人としては全然苦にならず、当たり前と思っています。これは住民さんの意識ではないかと感じています。もし私どもの地域で外さずに捨てておられたら、必ず住民さんに「環境部はこういうことしたら困るよ」と忍耐強くお願いを続けています。ごみの捨て方は、生活によって違うので、同じ方向へ向いて欲しいというのは、訴え続けるしかないと感じております。

会 長：他にございませんか。

委 員：19 ページの事業系ごみについて、私の認識では事業系可燃ごみと木質の粗大ごみは一般廃棄物で、組成調査結果のガラス類、プラスチック類は産業廃棄物であると思いますが、そうであれば結構な割合が含まれているわけですが、対策等お考えでしょうか。

会 長：お願いします。

事務局：事業系の一般廃棄物ですので、基本的には可燃ごみという形になっております。プラスチック類に関しましてはビニール袋等があると考えておりますが一定の割合プラスチックで、さらにガラス類が含まれているというのは、おっしゃる通りおかしな点だと思います。やはり機会をとらえて周知をしていかなければならないと考えております。

会 長：ありがとうございます。こんなことをしたほうがいいのではというご意見や、どういう意味だろうといったご質問等ございましたらぜひお聞かせください。

委 員：見方についてお伺いしたいのですが、13 ページ図 2-12 の正しい・誤りというのは、どういうことを想定されているのでしょうか。

事務局：廃プラ・ペットボトルとして出されていた中でペットボトルに関してはコーヒーが残っている等分別に協力いただけていない場合、スクイズ・チューブ・スティック容器につきましては、本来可燃ごみで出していただきたい程汚れていたものを誤りと分けさせていただいております。

会 長：ありがとうございます。他にご意見、ご質問等ございますか。

委 員：ごみを捨てる日時を守らない人もおられるということで、市の方で資源ごみをストックできるようなステーションを設置し、いつでも誰でも出せるようになれば、色々なことが解決できるのではないかと思います。さらに防犯カメラを併設すれば、資源ごみの持ち去りもなくなると思います。全てができるとは思いませんが、可能性のあるなら、試験的にマンションや一人暮らしの方が多い場所に設置すると、防犯上いいのではと常々思っております。

会 長：ありがとうございました。他にあればお聞かせください。

委 員：たばこの吸い殻が毎朝商店街に捨てられており、毎日掃除をしています。東京で行っているような路上喫煙禁止等は寝屋川市ではできないのでしょうか。また、自治会の活動で月 2 回資源ごみの回収があるのですが、マンションに住んでいる方に、自治会の取組を情報提供したらいいのではないかと思います。

委 員：喫煙について、店舗でも困っています。喫煙場所はもともとの店内にも、店外もありましたが、コロナ禍や禁煙が主流になっていることから、喫煙場所を減少しています。苦渋の選択として 1 ヶ所店外に設置しているのは、色々な所で喫煙され吸い殻を捨てられてしまうことを防ぐためです。一方、いまだに喫煙場所を設置してい

るのかというお客様からの厳しい声があり、理由を伝えても納得してもらえず苦慮しています。今後、喫煙に関しては周りの声が非常に厳しくなっていますので、いい案があればお教えいただきたいです。

会 長：ありがとうございます。たばこに関してお願いします。

事務局：たばこに関しまして市の健康部署があり、駅前を中心に路上喫煙禁止区域を設定しているのですが、市も同様で、区域中には喫煙所を設けなければならず、もう少し広い喫煙スペースが欲しい、なぜたばこを吸える場所を設けるのか等、様々な意見が寄せられており、対応に苦慮しているという話を聞いております。

委 員：平和堂全体で一番たばこが売れる店が香里園です。今の香里園であれば、一部喫煙場所を、常設し煙が漏れないようにするのは必要なことなのかもしれないと思っています。

会 長：ありがとうございます。

委 員：今関東で、道路陥没で下水が大変なことになっていますが、寝屋川市は大丈夫ですか。

会 長：部署が違うからつらいかもしれませんがお願いします。

事務局：先日聞いた話では、寝屋川市でも直径２メートル以上の下水道管につきまして調査を行い、問題なしという結果が出たと聞いております。

委 員：ありがとうございました。

会 長：先ほど委員から下水の話がありましたが、川口市ではリチウムイオン電池が混ざっていたために、焼却工場が焼けてしまい、ごみが収集できなくなったというようなこともあり、都市を支えるインフラが大切だという意味では、ごみの話も下水に負けず、すごく重要なことではないかと思います。

次第３．その他

（事務局より説明）

会 長：本日予定しておりました案件はすべて終了いたしました。ありがとうございました。委員の皆様におかれましては、円滑な運営にご協力いただきありがとうございました。これをもちまして、令和６年度第３回寝屋川市ごみ減量化・リサイクル推進会議を終わります。皆様本当にありがとうございました。